

## 新たな障害者雇用率の設定について

障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律(平成 25 年法律第 46 号)により、平成 30 年 4 月から 5 年間の障害者雇用率は、経過措置として、次の計算による割合に基づき、障害者の雇用の状況その他の事情を勘案して定めることとされている。

$$\begin{aligned} & \text{常用雇用身体障害者数} + \text{常用雇用短時間身体障害者数} + \text{失業身体障害者数} \\ & + \text{常用雇用知的障害者数} + \text{常用雇用短時間知的障害者数} + \text{失業知的障害者数} \\ & + \text{常用雇用精神障害者数} + \text{常用雇用短時間精神障害者数} + \text{失業精神障害者数} \end{aligned}$$


---


$$\begin{aligned} & \text{常用雇用労働者数} + \text{常用雇用短時間労働者数} \times 0.5 \\ & - \text{除外率相当労働者数} + \text{失業者数} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & [39.3\text{万人} + 2.6\text{万人} + 10.9\text{万人} + 13.5\text{万人} + 1.9\text{万人} + 3.5\text{万人} \\ & \quad + 4.6\text{万人} + 1.3\text{万人} + 12.1\text{万人}] = 89.7\text{万人} \end{aligned}$$


---


$$\begin{aligned} & \{(\underbrace{3,499.7\text{万人}}_{(\ast 1)} + \underbrace{441.2\text{万人}}_{(\ast 1)} \times 0.5) \times (1 - \underbrace{0.056}_{(\ast 2)}) + \underbrace{193\text{万人}}_{(\ast 1)}\} = 3705.0\text{万人} \end{aligned}$$

$$= 2.421\%$$

※ 1 : 平成 28 年労働力調査より推計

※ 2 : 平成 28 年障害者雇用状況報告より算出